



# 二硫化タングステン(WS<sub>2</sub>)

## 二硫化タングステン (WS<sub>2</sub>) スプレー

二  
硫  
化  
タ  
ン  
グ  
ス  
テ  
ン



コ  
ス  
ト  
ダ  
ウ  
ン  
す  
る  
潤  
滑  
剤

### 特 性

- ・潤滑性に優れ荷重が増大すればするほど、その特徴を発揮し低荷重の時の約 1/4 の摩擦係数を示します。電力消費量も 30%~50%減少します。
- ・耐久性に優れ、二硫化モリブデンの 3 倍以上の耐久性を示します。
- ・高温部・低温部でも変化せず最高性能を発揮します。  
※-35°C~450°C但し大気シャダン密封された場合 850°C

### 用 途

- ・組立用潤滑 . . . あらゆる機械の組立に際し摩擦面に塗布する。特に圧入の場合、大きな効果があります。  
「カジリ防止」、「焼付防止」、「ナジミ運動時間短縮」
- ・無給油長時間潤滑
- ・塑性加工用潤滑 . . . 工具の摩擦防止仕上りの向上に大きな効果があります。
- ・離 型 剤
- ・高 温 潤 滑
- ・低速運動の潤滑 . . . ビビリ(ステックスリップ)の防止
- ・シール、パッキング、Oリングの潤滑



# 二硫化タングステン(WS<sub>2</sub>)

## 容 量

330g 缶 1 本にて約 3 m<sup>2</sup>被覆できます。

## 使用方法

1. 缶を良く振ってなるべく垂直にして 20 cm～30 cmの距離から噴射時間を短くして、スプレーして下さい。
2. 長く続けて御使用の時は、缶を時々振って下さい。
3. 使用後は、逆さにしてノズルを押して澄んだガスが出るまで噴霧の上保管して下さい。
4. 40℃以上の場所に長時間保管しないで下さい。
5. 使用後火中に投げないで下さい。使い果たした後缶の底に穴をあけエア抜きしてから捨てて下さい。

## <二硫化タングステンの物理的科学的特性>

分子量・・・248.02	耐熱度(現在までの実験で
比 重・・・7.4～7.5	判明しているところで)
安定度・・・中性	●大気中 …… 450℃
純 度・・・99.9%以上	●空気の流通のないところ
硬 度・・・Moh1.5	では ……1450℃
凝集性・・・なし	●真空中 ……1100℃
(従って凝集を防ぐため	●窒素中 ……1000℃
の分散剤は必要ありま	●アルゴン中・・・1100℃
せん)	●水素ガス中・・・1000℃

耐薬品性・・・	電気的特性・・・
王水硝酸ふっ酸等に蝕	固有抵抗は大であるが加圧さ
されるが塩酸・硫酸・苛	れると固有抵抗は極めて低く
性ソーダ等のアルカリ	なる
には、ほとんど蝕されな	(半導体の性質を有する)
い強耐蝕性あり	

## 二硫化タングステンの試験結果

温度と摩擦係数との関係・・・この試験は、津谷式摩擦係数試験器で測定した。(工業技術院機械試験室に於て)

